

令和6年度 決算報告

令和6年度の一般会計・特別会計・公営企業会計のあらましを、一般会計を中心にお知らせします。市の予算や決算は市ホームページで閲覧できます。



市ホームページ
「決算について」

1 決算収支



一般会計・特別会計

区分	歳入	歳出	収支
一般会計	262億746万円	252億69万円	10億677万円
国民健康保険事業特別会計	56億8,699万円	54億876万円	2億7,823万円
後期高齢者医療特別会計	12億5,560万円	12億6万円	5,554万円
介護保険事業特別会計	47億333万円	46億7,227万円	3,106万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,116万円	1万円	1,115万円
工業団地整備事業特別会計	830万円	0万円	830万円

公営企業会計

区分	収入	支出	収支
下水道事業会計	18億2,150万円	17億3,953万円	8,197万円
	15億5,364万円	19億7,232万円	△4億1,868万円

2 一般会計



1 歳入

歳入総額

262億746万円 (前年度比12億972万円増)

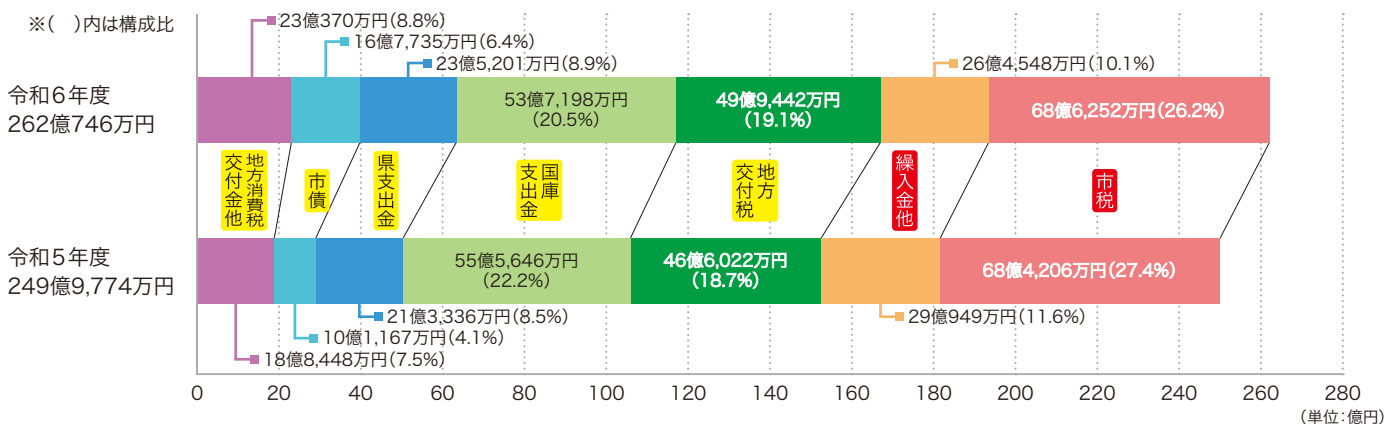
地方交付税が7.2%増加したことなどにより歳入全体として12億972万円増加しました。
また、放課後児童クラブ施設整備事業などによって、普通建設事業費が増加したことで、市債が6億6,568万円増加しました。

自主財源 下図の赤色枠

市が独自で調達するお金で主なものは市税です。決算に占める割合は前年度の39.0%から36.3%へと減少しました。

依存財源 下図の黄色枠

国・県などより交付されるお金です。決算に占める割合は前年度の61.0%から63.7%となりました。

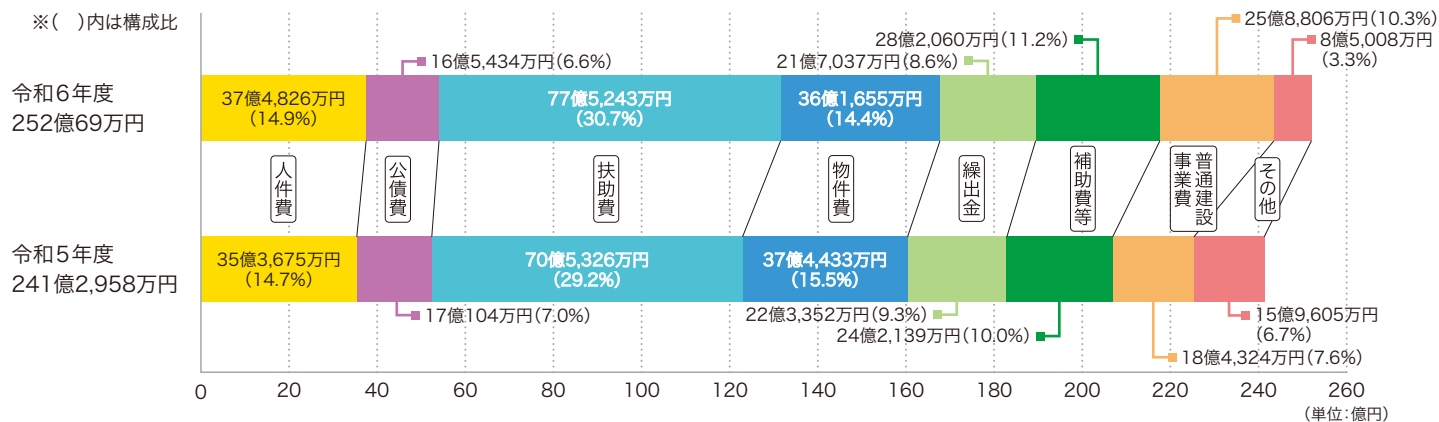


2 | 歳出

歳出総額 **252億69万円** (前年度比10億7,111万円増)

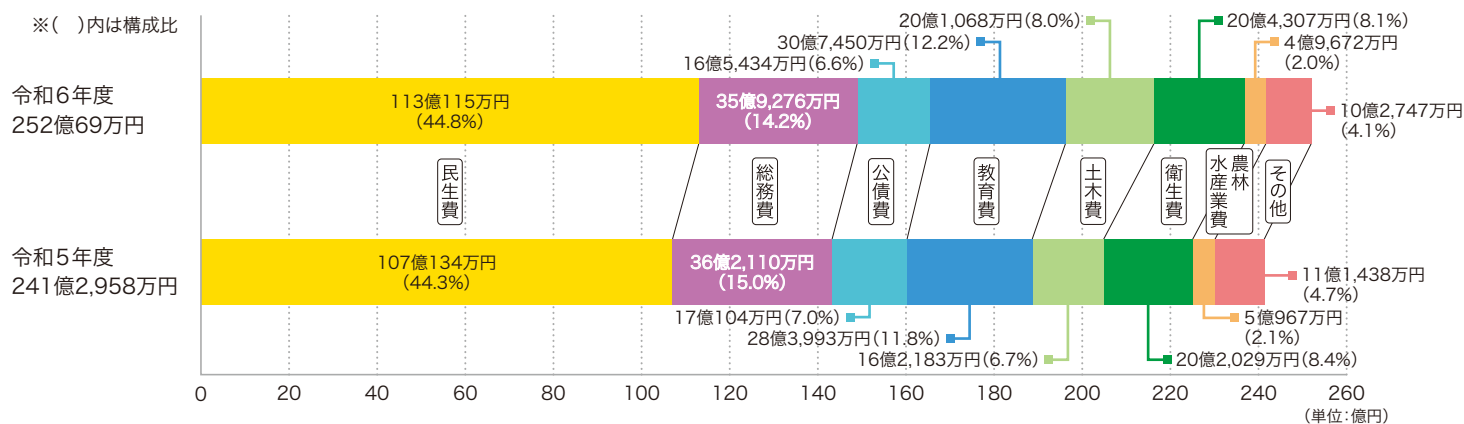
性質別経費

性質別では、小郡中学校大規模改造事業や放課後児童クラブ施設整備事業などによって普通建設事業費が7億4,482万円の増(+40.4%)となりました。また、障害福祉サービス費や定額減税補足給付金(調整給付)事業の増などにより扶助費が6億9,917万円の増(+9.9%)となりました。



目的別経費

目的別では、障害福祉サービス費の増などによって、民生費が5億9,981万円の増(+5.6%)となりました。また、河川維持補修事業などにより、土木費が3億8,885万円の増(+24.0%)となりました。



用語の解説

性質別歳出

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員や各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、児童手当、医療費などに使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費などに使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁などの整備や公共施設の新設増改築などに使うお金

目的別歳出

- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金
- ◆公債費 借り入れたお金を返済するためのお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用、図書館など教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川などの維持管理・改良などに使うお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ごみ処理などに使うお金



令和6年度一般会計決算を 年間収支600万円程度の家計に置き換えてみました



令和6年度一般会計決算を家計簿に置き換えました。市の決算額は規模が大きいので、より分かりやすくするために、規模を4,000分の1に縮小しています。

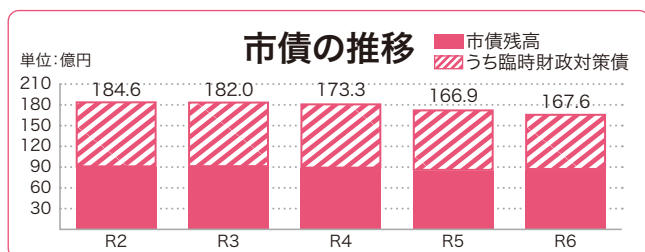
支出	前年度比
食費 (人件費)	94万円 (+6万円)
医療費・養育費 (扶助費)	194万円 (+18万円)
ローン返済 (公債費)	41万円 (▲1万円)
家の増改築など (投資的経費)	65万円 (+19万円)
家や車の補修 (維持補修費)	4万円 (+1万円)
子どもへの仕送り (繰出金)	67万円 (▲2万円)
保険料など (補助費等のうち一部事務組合負担金)	25万円 (+3万円)
光熱水費・通信費・雑費など (物件費)	90万円 (▲4万円)
区費やサークル・会合への会費など (補助費等)	33万円 (+7万円)
貯金 (積立金)	17万円 (▲16万円)
その他支出 (投資及び出資金)	0万円 (▲4万円)
合計	630万円 (+27万円)

収入	前年度比
給料 (市税)	172万円 (+1万円)
給料(諸手当) (地方交付税や地方譲与税など各種交付金)	182万円 (+19万円)
実家からの援助 (国・県補助金)	193万円 (+1万円)
パート・家賃収入 (分担金・負担金・手数料・使用料)	14万円 (0万円)
貯金の取崩 (繰入金)	15万円 (0万円)
銀行からの借入 (市債)	42万円 (+17万円)
雑収入 (財産収入・諸収入・寄附金)	15万円 (▲10万円)
前年度からの繰越 (繰越金)	22万円 (+2万円)
合計	655万円 (+30万円)
※貯金残高	169万円 (+2万円)
※ローン残高	419万円 (+2万円)

市の借金

167億6,378万円 (前年度比+0.4%)

市民一人当たり 281,920円



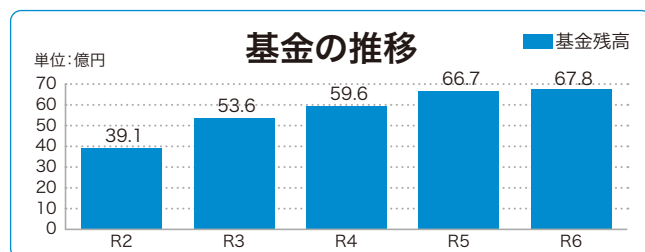
道路・交通安全施設や公園、教育施設(学校、スポーツ・文化施設等)などを整備するときに、市が借り入れたお金を「市債」といいます。市債の返済は長期にわたるため、世代間の負担の公平化を図る役割を持っています。

令和6年度は、16.8億円の借り入れに対し、16.0億円の元金償還を行いました。

市の貯金

67億7,550万円 (前年度比+1.6%)

市民一人当たり 113,945円



家計でいう貯金を「基金」といいます。財政調整基金を含む基金全体の積み立て額は昨年度から1.1億円増加しました。地方交付税等の増収により一般財源が増額となり、財政調整基金へ1.9億円積み立てることができました。

3 令和6年度の主な事業



●放課後児童クラブ施設整備事業(事業費1億3,713万円)

施設が老朽化していた大原校区学童保育所、三国校区学童保育所の新築・改修を行い、学童保育所の環境改善を図りました。また、のぞみが丘校区学童保育所の空調機を更新しました。

●小郡校区コミュニティセンター大規模改造事業(事業費1億3,740万円)

施設内部及び外部の全面改修を行いました。また、授乳室、フリースペース(1階)と学習スペース(2階)を新設し、土足解禁とするなど、時代に合わせた多様なニーズに対応できるよう、公共施設としての機能強化を図りました。



小郡校区コミュニティセンター改修後

●市LINE公式アカウント機能拡張事業(事業費6,101万円)

興味・関心のある分野や居住地域、年代といった属性を登録し、必要な情報に絞って受け取ることができるセグメント配信を始めました。また、ごみ収集日のリマインド機能や証明書のオンライン申請など各種手続きのオンライン化の取り組みを始めました。

●農業用ため池浚渫事業(事業費7,585万円)

近年の集中的な豪雨により、全国的にため池の決壊や下流域の浸水被害等が発生していることから、治水対策として、農業用ため池の堆積土砂の撤去に取り組み、貯水能力の向上を図りました。

●地域商品券発行事業(事業費5,980万円)

市内での消費喚起と地域経済の活性化を目的として、小郡市商工会が実施するプレミアム付商品券「將軍藤小判」及び「將軍藤ペイ」発行事業に対し補助を行いました。

●河川維持補修事業(事業費2億410万円)

大崎地区に半固定式雨水ポンプを導入するとともに、調整池である上岩田工業団地調整池の土砂撤去工事を実施し、貯留量の向上と環境改善を図りました。

●小郡中学校大規模改造事業(2期工事)(事業費2億8,700万円)

安全で快適な教育環境の確保や校舎の長寿命化を図るため、老朽化により使いづらくなった校舎の内外装・設備等を全面的に整備し、小郡中学校の大規模改造工事を行いました。